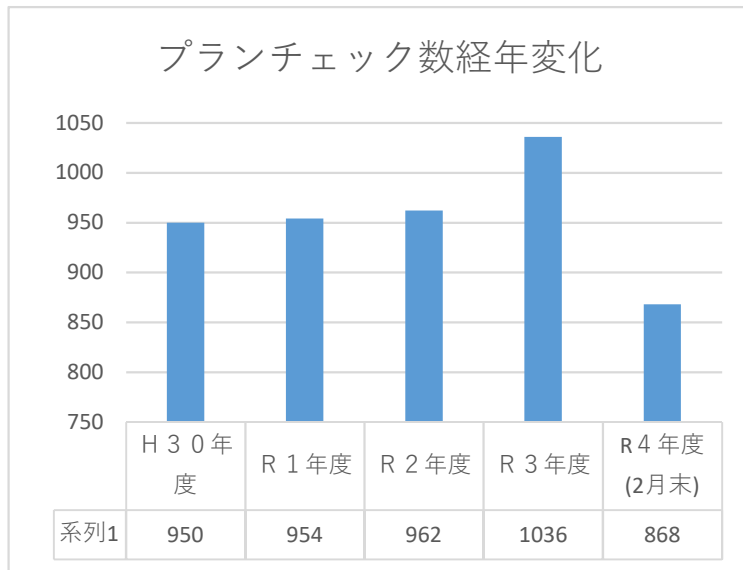


自立支援にむけた介護予防ケアマネジメント促進事業

- 事業 ①自立支援を目的としたケアマネジメントに基づいた支援の推進を図る。
 目的 ②高齢者が家庭内で役割を持ちつつ、社会活動へ参加することを促進する。
 ③高齢者の生きがいや自己実現を支援し、QOLを向上する。



事業対象者、要支援1・2の方のプランで、訪問・通所リハビリや訪問看護等専門職による支援を定期的を受けている物以外の全数確認を行っています。令和4年度から安定者に限りプラン更新時期を1年としたこともあり急増していたプラン数は抑えられています。

給付の適正化も含めた視点を持ちながら、過度なサービス利用による、自立支援を抑制していないか、地域のサービスに繋げることはできないかといった視点で行っています。

資料3の抜粋

	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
区分	(H31.3)	(R2.3)	(R3.3)	(R4.3)	(R4.12)	
①事業対象者	665	533	450	366	388	
②要支援	要支援1	259	302	309	324	319
	要支援2	483	472	479	466	482
	計	742	774	788	790	801
総合事業	④総合事業通所介護	346	192	195	219	223
	⑤おでかけデイサービス	149	152	140	140	125

H30年度以前事業対象者と共に総合事業通所介護が急増していたが、総合事業通所介護はR1年度から約200人をキープしており、過度なサービス提供は抑えられたと思われる。R4年度はコロナ禍においてフレイルの進行により増加したと予想され、適正範囲内と考える。

総合事業通所介護からの改善率の経年変化（各年度12月末時点比較）

前	後	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
総合事業通所	卒業	15	13	18	2
総合事業通所	おでデイ	14	2	0	0
総合事業通所	従来型デイ	214	179	244	193
総合事業通所	通所リハ	6	2	1	2
総合事業通所	要介護	31	23	35	31
総合事業通所	入所	8	4	7	5
計		288	223	305	233
改善		10.07	6.73	5.90	0.86
維持		76.39	81.17	80.33	83.69
悪化		13.54	12.11	13.77	15.45

提出いただくプランの総合事業通所介護サービスに特化した比較です。H30年度から全件プランチェックを実施し、改善率はR1年度では10%代でしたが、年々減少し改善が必要な方が減少していると感じます。つまり、必要な方が利用する適正な総合事業通所介護になってきていると思われます。また、プラン更新の半年・1年後にも8割以上が状態維持できている状況です。この総合事業通所介護からの改善率比較評価は今年度をもって終了し、プランの効果については別の指標で図っていくようにしたいと考えます